

はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
平成30年1月2日発行
NO. 302

色とりどりに咲いた花々

むつみの祭実行委員担当 森元 勇気

第70回むつみの祭は、今年も睦中生の心をひとつにした歌声と、日ごろの活動の成果が素晴らしい花となって色とりどりの花を咲かせることができました。

合唱コンクールでは、どのクラスも日々の積み重ねが実り、ひとつにまとまっている様子がみられ、素晴らしい発表となりました。特に、3年生の気迫溢れる合唱と全力で取り組む姿勢は、見ている人の心に響くものでした。また、有志合唱では総勢200名にも及ぶ人数で体育館いっぱいに感動的な合唱を響かせました。ステージ発表のひまわり級、演劇部、吹奏楽部も毎日の練習の成果を出すことが出来ました。

一人ひとりが、むつみの祭を通して、自分の役割を理解し、それを精一杯果たすことの大切さを経験しました。行事を終えた今、それぞれのクラスや部活動で咲いた花が、より一層鮮やかなものとなるために、この経験を活かし、さらに実りある学校生活を送ってくださることを願っています。



各クラスの指揮者にインタビューしてみました。3年生は裏面に掲載しています

1-1 石井 柚子

小学校の時の合唱練習と違って、「歌う」だけでなく、息を合わせる練習や発音を合わせる練習などがあって、合わせることは大変だったけれど、『みんなのために』を合言葉に頑張りました。みんなで一生懸命になることができました。指揮者として責任を果たせたかは分からないけれど、とても大切な役割をやらせてもらって大きく成長できたと思います。クラスでとても気持ちの良い合唱ができて良かったです。

1-2 柏木 優愛花

私はむつみの祭を通してみんなで協力する大切さや、協力してやりとげることのすごさを見つけることができました。自分だけを優先するのではなくクラスメイトのみんなの気持ちを考える難しさや、みんなの気持ちをまとめることの大変さも学ぶことができました。この学んだことをこれからの生活に活かしていきたいと思いました。今回のむつみの祭は1年2組にとって、個人にとって大きく成長させてくれた行事になりました。

1-3 星 姫菜

私たちは、「あの宙より」を歌って優秀賞をもらいました。でも、最初の頃は、合唱練習でもクラスがなかなかまとまらず、優秀賞とはほど遠いものでした。しかし、音楽の授業で先生からアドバイスを頂いたり、日々の練習の中でお互いが的確に指示をするなどしていくうちに、次第にクラスがまとまってくるようになり、良い合唱になってきました。みんなのおかげで優秀賞をもらうことができました。ありがとうございました。

1-4 山田 怜愛

最初は、練習の雰囲気をはっきりと作れず、私自身も指揮者としての役割を果たすことができていなかったと思います。ですが、むつみの祭実行委員やパートリーダー、クラスの皆の協力のおかげで、私も自信を持って指揮を振れるようになりました。本番は今までの中で一番の笑顔と真剣さで、終わったときには自然と心があたたかくなりました。こんな私にみんなついてきてくれて、本当に1年4組に感謝でいっぱいです。



2-1 奥原 姫乃

1組では、合唱練習の始めの頃、なかなか真剣に取り組むことができていませんでした。すれ違いから、小さな言い合いが生まれ、クラスがバラバラになることもありましたが、でも、実行委員やパートリーダーを中心に呼びかけをし、協力する人が増え、毎日の練習が楽しくなっていました。本番は緊張の中ステージに立ちましたが、練習の成果を出すことができ、優秀賞を獲得することができました。1組の皆と先生方に感謝で一杯です。

2-2 新名 夕海

2年2組は練習が始まった頃は、各パートの音量に差がある等様々な問題がありました。ですが練習を重ねていくうちに各パートの音量の差はなくなっていき、みんなが顔を上げ笑顔で歌える様になりました。そしてむつみの祭の本番では、みんなが笑顔で心をついて合わせて歌えることができましたと思います。優秀賞には届きませんでしたが、私は優秀賞以上の何かをみんなで得られた気がします。2年2組の指揮ができたことを誇りに思います。

2-3 小本 真也

僕たちは、「君とみた海」を通して二つ成長したと思います。一つ目は、体育祭の時以上に深まった絆と団結です。この絆と団結は二度と消えることのない大切なものです。僕たちはこれから辛いことがあっても、この絆と団結で乗り越えて行けるでしょう。二つ目は、相手を思う気持ちです。「君とみた海」は相手を思う曲でした。分かり合えない時には、この曲を思い出したいと思います。

2-4 町田 花怜

私たち2年4組は、「HEIWAの鐘」を歌いました。初めは、歌う気のない人も多く、まとまりのない合唱でした。でも、本番が近づくにつれて、本気で歌いたいという人たちの思いが届き、クラスにまとまりが見えるようになりました。本番は心をついて、2年4組の「HEIWAの鐘」を鳴り響かせることができました。私は、指揮をする中で、沢山悩み、迷ったけれど、そんな時に支えてくれた仲間感謝しています。みんな本当にありがとう。

2-5 宮田 桃花

2年5組の合唱は、徐々に上手くなっていきました。しかし、もっと急激な成長が必要だと思っていました。本番まで残り1週間を切った学年リハーサルで、他クラスの合唱を聴き、焦りを感じました。その日からの成長は著しく、指揮をしていて嬉しくなりました。むつみの祭本番で、優秀賞をとるという目標は達成できませんでしたが、クラスの団結力は強まったと思います。5組のみんな、本気で取り組んでくれ、最高の合唱をありがとう！

